

第68回日本生物工学会富山大会 3LC2ランチョンセミナー

C会場(ANAホテル) 9月30日(金) 11:30-12:30

■ 標的成分の効果的な分離と検出:

低分子(糖、有機酸)から高分子(タンパク質、核酸、糖鎖)まで分析システム一挙公開

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

演者: **高原 健太郎**

広いラインナップの分析装置を提供しているサーモフィッシャーならではの、化合物の特性に応じた分析システムをご提案します。特に弊社に特徴的な分析技術が活用できる下記の化合物に関して実用例とともにご紹介します。

— 極性低分子化合物の分析: 糖、有機酸

生体試料、食品試料、培地成分などの分析において、糖、有機酸は多くの研究者に注目され、分析されてきました。しかしながら、LCやイオンクロマトグラフ(IC)により異性体の分離特性が異なったり、検出器の選択肢が多様(UV検出器、電気化学検出器、質量分析計など)であったりします。そこで、実際の分析事例を基に、運用性、分離および検出感度の観点から分析システムの特徴をご提示します。

— 生体高分子の分析: 専用カラムの活用 ~タンパク質(抗体)核酸、糖鎖~

バイオ医薬品をはじめとした生体高分子の分離・検出は、近年のホットトピックスの一つです。弊社では、タンパク質(抗体)核酸、糖鎖に関して専用カラムを開発しており、それぞれの生体高分子において、質量分析計にも対応したカラムも取りそろえております。専用カラムを用いた解析により、どのような情報が得られるのかについて、実際の測定データとともにご紹介します。

— 分析条件検討の効率化: AppsLab Library (<https://appslab.thermoscientific.com/>)

研究者が測定すべき化合物はますます多様になり、適した分析手法を迅速に導入できることが望まれています。そこで、弊社は分析条件を効率よく検索して導入するための無料のWebサイトである“AppsLab Library”をご提供しています。さまざまな分析装置(GC、LC、IC、GCMS、LCMS)の分析条件が登録されているだけでなく、前処理条件、使用した消耗品の情報も閲覧できます。また分析条件をダウンロードでき、弊社のクロマトグラフィー解析ソフトウェアを共に使用することで、最小6クリックだけで分析開始が可能です。

本セミナーでは、新たに生体分子を測定する研究者に、どのような分析システムを採用あるいは導入すべきかについてご提案します。



● 問い合わせ先

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-9

 Tel.0120-753-670 Fax.0120-753-671

E-mail.Analyze.jp@thermofisher.com www.thermofisher.com

ThermoFisher
SCIENTIFIC